

和歌山での思い出

ヨウ セツ

教育学部 交換留学生 中国

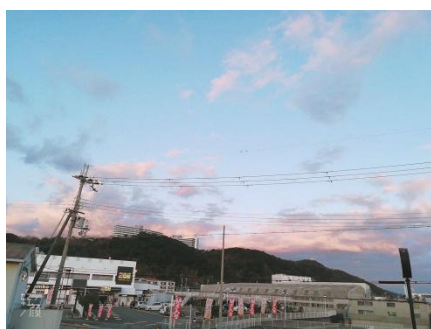
日本に来る前イメージしていた和歌山は名前が美しい地域で、標高が高くて小さな山村かなと思っていたのですが、県の名前をつけた大学があるなら、周囲はたぶんにぎやかで中国の大学のある地域のような感じで大丈夫きっと大丈夫だろうと思っていました。私はそんな几帳面な性格ではなく、あまり細かいことを気にしないので、和歌山に関する資料を詳しく調べてみることもしませんでした。



日本に来た初日、環境になじめずスーツケースを押して1時間ぐらいかかって寮に行って、ここが本当に山だと驚きました。スーツケースを押しながら宿舎に向かう道ではほとんど人を見かけませんでした。中国の高い人口密度と違って、ここは本当に広々とした感じがしました。寮に行く途中に丘だったり小さな川だったりが見えて、環境全体が自然で静かな感じがしました。その時、なぜ来る前に資料を調べなかったのかと後悔しました。あの日、寝室に着いてからは、床に倒れ込んで、まったく動きたくなかったのを覚えています。

学期が始まってから、初めて学校に行くのも大変でした。バスという選択肢はありますが、まだ日本の物価に適應していない貧しい留学生の私たちにとって、バス代も高いです。そのためみんなは黙々と学校へ歩いて行くことを選びました。しかし、30分も歩かなければならなくて、その3分の2は山登りだとは思いませんでした。登校中はみんな泣き笑いして、お金を節約して体を鍛えていると言って自分を慰めました。

休みの日にクラスメートと観光に行きました。和歌山の黒潮市場に行って、「このような観光スポットには観光客が多いが、やはり中国の観光スポットに比べて少ない」と感じました。中国の観光スポットの最大の欠点は人が多すぎることです。観光客があまり多くなければ、「にぎやか」ではなく「落ち着いた雰囲気」を感じられます。観光客が多ければ、観光スポットの風景を楽しむのではなく人間観察になってしまいます。和歌山の観光スポットは、人が少ないので景色をちゃんと観賞できます。私はこの観光客が少なく、「落ち着いた雰囲気」を感じられることも素晴らしいと思いました。



ですが、アルバイトを始めてから、それまでの「和歌山は人が少ない」という考えがあまりにも一方的だったことに気づきました。コンビニでアルバイトをしていると平均10分

おきにお客さんが買い物にくるのですが、飲食店でアルバイトをしていると、昼食の時間や夕食の時間が非常に忙しくなって、その度に「そんなに多くのお客さんがどこから出てくるのか、普段はこれだけの人を見ないのに」と思って、大変でした。ですがアルバイト先の先輩たちはみんないい人で、私たち留学生の世話もしてくれて感動しました。

あと二ヶ月もしないうちに和歌山とお別れをすることになりましたが、一年というのは長くも短くもないですし、和歌山で経験したユニークな経験、国にいるときとは違う経験は、私にとってとても貴重な思い出になるでしょう。

Memories of Wakayama

Yang Xue

Faculty of Education, Exchange Student / China

Before I came to Japan, I imagined that Wakayama was a beautiful area with a very beautiful name. I thought it was a small mountain village with a high altitude.

The first day I came to Japan, because of not adapting to the environment, surprised to find that it is really a mountain here. Different from the high population density in China, I feel the whole environment is very natural and quiet. The first time to go to school is also very hard. On the rest day, I went to the Kuroshio Market with my classmates. After I started working, the restaurant which I work at, at lunchtime and dinnertime become very busy. The work spot's predecessors are good people, take care of our foreign students, I'm moved.

After two months, I will say good-bye to Wakayama, a year is not long or short, but the unique experience in Wakayama, for me is a very precious memory.

和歌山的回忆

楊雪

教育学部 交換留学生 / 中国

来日本之前想象中的和歌山是一个名字很美的地区，原以为是一个海拔高的小山村，但我想如果有一所以县名来命名的大学的话，可能会像中国的大学一样周围大概会很热闹，应该没问题。

来到日本的第一天，由于不适应环境，惊讶地发现这里真的是山。在去宿舍的途中，可以看到山丘或小河，与中国的高人口密度不同，感觉整个环境都很自然，很安静。开学以后，虽然有巴士，但是对于还没有适应日本物价的贫穷留学生来说，巴士费用也很高。所以大家默默地选择了走去学校。休息日和同学们一起去黑潮市场，这样的景点虽然有很多游客，但是和中国的景点相比还是不多，中国景点最大的缺点就是人太多了。开始打工以后，我发现以前我的想法过于片面。打工店里的前辈们都是好人，很照顾我们留学生，让人感动。

再过两个月就要和和歌山说再见了，一年不长也不短，但在和歌山经历的独特的经验对我来说是非常珍贵的回忆。